

.....

# うきたむ考古通信

.....

2016年10月号

■発行者	うきたむ考古の会
事務局	山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 内
	〒992-0302 山形県東置賜郡高畠町安久津2117
	電話0238-52-2585 Fax 0238-52-4665

## 展覧会の案内

### 👁️企画展 **森と暮らせば**－縄文時代の植物利用－開催中

縄文人は様々な植物資源を活用しながら暮らしていました。ところが、縄文時代の遺跡の大半では植物に由来するものは出土しません。縄文時代の遺跡の多くは高燥の地にあるため長い年月の中で腐朽してしまったからです。

このような中であって、地下水によって腐朽を免れ、植物利用の実態を示してくれる遺跡もあります。山形県内では縄文時代前期後葉の高畠町押出遺跡、縄文時代前期から晩期まで継続した遊佐町小山崎遺跡の二つの低湿地遺跡から多くの植物由来の遺物が出土し、その暮らしぶりを彷彿とさせてくれました。第24回企画展ではこの二つの遺跡に加え、寒河江市高瀬山遺跡、長井市長者屋敷遺跡、米沢市上谷地b遺跡、村山市川口遺跡、天童市渡戸遺跡の出土品の展示をとおして、縄文時代の植物利用を考えます。

第I章「住と木工」 住居と木工に関わるモノについて紹介しています。

第一節「住」では建物などを構成する部材や柱、杭などの木製品と、屋根や壁の材料となるイネ科植物を刈り取ったと考えられる使用痕のある押出の石槍を展示しています。

第二節「木工」では、木を切り出したり加工するための道具である石斧とその柄の他に、縄や樹皮、樹皮製品、製作工程を知る手がかりとなる、つくりかけの木製品などを展示しています。

第II章「食料獲得と加工」食に関わるモノについて紹介しています。

第一節「猟」では、弓と石鏃、獲物となった動物の骨など展示しています。

第二節「漁」では、舟を漕ぐ櫂、漁具として使われた玉網や棍棒棒状木製品、釣針や網の錘などを展示しています。

第三節「植物」では、縄文時代の人々の主要な食料だったクリ、クルミ、コナラ、トチ、これらを加工したパン状炭化物・クツキー状炭化物や加工用具、木の実のあく抜きを行った水場遺構の、木組み部材などのほか、食料として栽培されたと考えられるヒエやゴボウの仲間の種などを展示しています。

第三章「器と漆」 器と漆に関わる出土品を展示しています。

第一節「容器と漆製品」では、押出遺跡の彩漆土器をはじめ、木胎漆器、木製容器等を展示しています。12点の彩漆土器は2週間に一度の展示替えを行い、企画展期間中に

全点を展示します。

第二節「漆液容器」では、漆工に使用する漆を入れた容器を展示しています。

第四章「装いと祈り」装いと祈りに関わるモノを紹介します。

第一節「衣」では、衣服等にも使用されたと考えられる、編んで作られた布の一部や、これらの材料として栽培されていたと考えられるアサの種子を展示しています。

第二節「装飾」では赤漆が塗られた櫛や腕輪等を展示しています。

第三節「祈り」では祭祀に使われたと考えられる様々な木製品を展示しています。

通常は空調の整っている本館収蔵庫に保管されている押出遺跡出土の植物関連資料と国保有の彩漆土器 10 点、そして、昨年報告書が刊行された小山崎遺跡の植物関連資料（現在未公開）等、普段は目にすることができない貴重な資料を展示しています。12 月 4 日（日）までの開催となっています。是非ご来館下さい。

## ♥ 考古資料館主催事業報告

### 秋の遺跡めぐり

●10 月 2 日（日）に秋の遺跡めぐりを開催しました。参加者総勢 24 名で福島県郡山市大安場史跡公園、二本松城、福島市大森城、じょーもぴあ宮畑と福島県中通りの遺跡を訪れました。

大安場史跡公園では工藤氏に案内していただきガイド施設で郡山市の各時代の出土品と大安場古墳の構造と出土品を説明していただいた後に、整備された 2 号墳と東北最大の前方後方墳を見学しました。前方後方墳では主体部の大きさに圧倒されました。このように大きな古墳が平成になってから見つかった訳ですが、我が稲荷森古墳や天神森古墳、寶領塚古墳などの大型古墳も昭和 50 年代以降に見つかっていることを考えれば、今後も県内で大型古墳が見つかる可能性は残されている、そのための調査は継続しなければならないと強く感じさせられました。

二本松城では本丸の石垣を中心に見学しました。復元された枡形の右の石垣に使われた石材の新しさに、違和感を覚えた人もいました。また、山城山頂部の石垣群には圧倒されました。昼食は城に近接する隊士館で多くの料理が並ぶ豪華な和定食を頂きました。

昼食後は、福島市在住の考古の会会員大野さんの先導で福島市の大森城に向かいました。狭い山道を登り主郭近くの駐車場までも登ることができました。本丸の堀と土塁、そして、福島盆地を見下ろせる場所に立ち、仙道地方を押さえる要衝の地にあることが理解できました。

二つの城とも本丸、そして主郭のすぐ近くまでバスが入れましたので、足元に不安のある方にとっても楽な城攻めとなりました。

最後は、福島市の史跡宮畑遺跡に昨年オープンした「じょーもぴあ宮畑」を堀江氏の案内で見学しました。屋外復元展示や露出展示も様々な工夫がなされた分かりやすいものでした。その後、体験学習施設で展示解説をしていただきました。今回の遺跡めぐりは好天に恵まれ、二つの史跡公園では詳しい案内も頂きました。深く感謝いたします。

## 館主催事業の案内

### 🎧 第 18 期考古学セミナー開催中

「森と暮らせば—縄文人の植物利用—」という企画展のテーマに沿って、縄文時代の植物利用について考えるセミナーを開催中です。あと 1 回の講座が残っています。開講

時間は各日とも 13:30～16:00 です。

平成 28 年 9 月 25 日(日)——終了 19 名受講

「山形県内の縄文時代植物利用の概要」

洪谷 孝雄 (当館館長)

「押出遺跡の植物利用」

水戸部秀樹氏 ((公財) 山形県埋蔵  
文化財センター)

平成 28 年 10 月 9 日(日)——終了 22 名受講

「小山崎遺跡の植物利用」

大川 貴弘氏 (遊佐町役場)

「高瀬山遺跡の水場遺構と植物利用」

小林 圭一氏 ((公財) 山形県埋蔵  
文化財センター)

平成 28 年 10 月 23 日(日)

「縄文時代の植生史と植物利用」

吉川 昌伸氏 (古代の森研究舎)

「出土遺体にみる縄文時代の植物利用」

吉川 純子氏 (古代の森研究舎)

対 象：一般 50 名程度

参加費：全 3 回 1,500 円(1 回 600 円)

## ♥勾玉・弓矢・石器、古代風ブレスレットをつくろう

5 月 21 日、8 月 6 日に続き、今年 3 回目となる勾玉づくり、弓矢づくり、石器づくり、そして 6 月 25 日に続き 2 回目となる古代ブレスレットをつくろうが開催されます。

文化の日の開催です。家族皆さんでご参加下さい。

## ♥ガラス玉をつくろう

6 月 18 日(土)に続き今年 2 回目が 12 月 3 日(土)に開催されます。できるだけ多くの方に体験していただきたいとの考えから今回から三つの時間帯を設定して開催することとしていますので、最大 15 組までの予約を受けられます。リピーターの多い体験学習ですが、受入数に余裕があるかと思えます。予約が必要ですが奮ってお申し込み下さい。

## 📍企画展記念講演会

平成 28 年 11 月 13 日(日)「縄文時代の植物利用」

講師 鈴木 三男氏 (東北大学名誉教授)

講師の鈴木三男先生は前東北大学植物園長で縄文時代や旧石器時代の遺跡から出土する植物遺体研究の第一人者です。山形県文化財保護審議会委員や小山崎遺跡の指導委員を務められるとともに、押出遺跡の植物遺体の調査にも関わってこられました。

### 館共催事業の案内

## 📍第 X I 期うきたむ学講座のご案内

今年度のうきたむ学講座は「置賜の歴史と生活をさぐる」をテーマに 10 月 29 日(土)に白鷹町で特別講座が開催されます。続いて 1 月 15 日(日)には「伊達時代の置賜」と題する第 1 回講座が、2 月 12 日(日)には第 2 回講座として「置賜の産業 焼き物編」、3 月 5 日(日)には第 3 回講座として「置賜の生活」と題した講座が開講されます。詳細は別添チラシをご覧ください。